

事務事業評価票

番号	枝番号	事務事業名	05 00 肢体不自由児通園助成事業	部署	福祉生活部	課名	児童福祉課	所属長名	榑原 修
基本事項	基本政策	01	ともに支えあい、笑顔輝くあたたかなまち(健康・子育て・福祉)	財務科目	会計	01	一般会計		
	政策	04	健やかな子育てを支える環境づくり			03	民生費		
	施策	01	子どもを安心して生み育てることができる環境の整備			02	児童福祉費		
						01	児童福祉総務費		
		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 単年度	事業開始年度: 平成元 年度	完了予定年度: 未定 年度			<input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時		

事業の対象(誰に対して・何に対して)	事業の目的(どういう状態にしたいのか)
わかあゆ園に通園する肢体不自由児で、西脇市内に住所を有し、かつ、現に居住している者	肢体不自由児を監護する保護者の負担を軽減する。肢体不自由児の福祉の増進に寄与する。
事業の内容(目的達成のための手段・方法)	
わかあゆ園に通園する肢体不自由児を監護している保護者に対し、対象児が通園した日(わかあゆ園の通園バスの運行日を除く)1日につき250円を助成する。	
補助・単独: <input type="checkbox"/> 国・県の補助金有り <input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 義務実施事業 根拠法令要綱等 <input type="checkbox"/> 努力義務実施事業 根拠法令要綱等 <input checked="" type="checkbox"/> 任意実施事業 根拠条例等 西脇市肢体不自由児通園費助成事業実施規程 <input type="checkbox"/> 市単費上乗せ(またはの場合) 根拠条例等	
正規職員が関与すべき法的義務性 <input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (該当業務:) 法令名・根拠条文:	
実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・負担金 <input type="checkbox"/> その他() 委託の場合: <input type="checkbox"/> 入札 <input type="checkbox"/> 随意契約(契約先:)	

総合計画・行動計画 施策シート

優先度

A B C

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	以降
展開方針 (年度別の事業内容)					
総事業費	千円	千円	千円	千円	千円
平成22年度の実施内容・成果			平成22年度の実施内容・計画どおり実施できなかった理由		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進んでいる。 <input type="checkbox"/> おおむね計画どおり進んでいる。 <input type="checkbox"/> 着手しているが、計画よりも遅れている <input type="checkbox"/> 計画どおり着手していない。 <input type="checkbox"/> 完了・達成(計画事業の終了)					
確認項目			市長指示事項等		
<input type="checkbox"/> 総合計画対象事業 <input type="checkbox"/> 市長公約・懸案事項 <input type="checkbox"/> 議会確認事項					
企画政策課 意見			行動計画掲載 <input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C		

		単位	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
事務事業データ	事業費(予算額または見込額) (A')	千円	200	200	200	200	200
	特定財源		0	0	0	0	0
	一般財源		200	200	200	200	200
	事業費(決算額) (A)		200	123	103	69	
	特定財源		0	0	0	0	
	一般財源		200	123	103	69	
一般職員所要人員 (B)	人	0.01	0.01	0.01	0.01		
一般人件費[平均給与×(B)] (C)	千円	79	79	79	79		
総コスト[(A)+(C)] (D)	千円	279	202	182	148		
受益者負担額 (E)	千円	0	0	0	0		
受益者負担率[(E)/(D)] (F)	%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		

【1次評価】

評価実施:平成22年度

		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	
活動指標	名称	通園児童数	13人	13人	13人	13人	
	説明	わかあゆ園通園児童数	21,462円	15,538円	14,000円	13,455円	
	単価						
	達成度				85%		
(目標)	名称						
	説明						
	単価						
	達成度						
成果指標	名称	通園日数	800日	800日	800日	800日	
	説明	年間総助成日数	800日	491日	412日	274日	
	単価		349円	411円	442円	540円	
	達成度		100%	61%	52%	34%	
(目標)	名称						
	説明						
	単価						
	達成度						
評価ポイント	事業の優先度(緊急性)	3	事業の必要性		1	実施主体の妥当性	5
	直接のサービスの相手方	2	受益者負担の適切さ		5	市民ニーズの把握	1
総合評価	評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止					判断理由 改善策
	理由	バスの運行日以外は、保護者が車で子どもを送迎するため、通園費の助成をすることで、親の負担を軽減しているため、時間にとらわれることなく、安心して送迎できるため必要不可欠であると考え、通園日数が減っているのは、保育園と併用して通園している子どもが増えているためである。最近、障害児の保育園児の受入れも可能で、普通の保育園生活の中で、友達を作ったり、学んだりすることもあるので、障害児保育の方への支援の見直しも必要である。					

【2次評価】

評価実施:平成22年度

		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	
評価ポイント	事業の優先度(緊急性)	3	事業の必要性		1	実施主体の妥当性	5
	直接のサービスの相手方	2	受益者負担の適切さ		5	市民ニーズの把握	1
総合評価	評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止					判断理由 改善策
	理由	障害を持つ児童とその保護者が、機能訓練等の目的でわかあゆ園に通園することについて、バスの送迎が無い日にその負担を軽減するため、少額の通園費助成を行っている事業であるが、年に最大数千円程度の金額であれば、保護者にとって本当に必要な補助金であるか再考する余地がある。 1日250円の助成金が本当に必要であるかを検証するとともに、最近保育所で障害児受け入れが可能であるため、障害児保育支援の方向へシフトしていくなど、支援方法の変更も含めて検討すべきである。					

【3次評価】

		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	
総合評価	評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止					判断理由 改善策
	理由						